耳かけ型 フォナック ヴィータス

Phonak Vitus+ BTE/RIC
Phonak Vitus BTE

取扱説明書

A Sonova brand

PHONAK
life is on

はじめに

このたびはフォナック補聴器をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを下記のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示がある項目は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示がある項目は、「損害を負う可能性、または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容を次のように表示し、説明しています。

⃠ 禁止	この表示がある項目はしてはいけない「禁止」の内容です。

■ 安全にお使いいただくために

自分で操作ができない方、自分で意思表示ができない方が使用される場合は、必ず周りの方が気をつけて、1人で使用させないでください。
また、36か月未満の乳幼児へは使用しないでください。

ご使用にあたって

禁止

- 下記の項目に該当する場合は、補聴器を使用しないでください。
  - 耳の治療中の方、耳の中や耳の後ろに痛みまたは炎症がある場合
  - 過去90日以内に耳だれがあった場合
  - 過去60日以内に突発性または進行性の聴力低下があった場合
  - 過去60日以内に左右どちらかの耳に聴力低下があった場合
  - 急性または慢性のめまいがある方
- 音量を大きくしすぎないでください。
- 騒がしいところでは音量を小さめにするか、長時間使用しないようにしてください。
- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないようにしてください。
- 分解、改造をしないでください。感電、火災、故障、けがなどの原因になります。
- レントゲン撮影、CTスキャンなどの画像診断器で使用する放射線（X線など）の直接照射は補聴器に悪影響を与える場合があります。これらの機器を用いた撮影を行う前には医師に補聴器を外すかどうかをお尋ねください。
  またMRIスキャンは強い磁力を用いますので、MRI室に入る前には必ずお外しください。
- 高気圧酸素治療のときは圧力により発火や故障の恐れがあるため、治療室内に持ち込まないでください。
- 過度の湿気や高温な場所は避けてください。特に夏場は、窓や車のフロントガラスの近くには置かないようにしてください。
- 補聴器の内部に水が入ると故障する恐れがありますので、水に濡らさないでください。（例：お風呂に入るとき）
  また、強い水流を当てたり、水中に沈めたりしないでください。

- 電池は火中に投げ入れないでください。
- 補聴器本体、電池単体および付属品（耳せん等）を子どもの手の届くところやペットのそばに保管しないでください。万が一、誤って飲み込んでしまった場合は、ただちに医師にご相談ください。電池の誤飲によって化学やけどを引き起こす可能性があります。
- 変形したり傷がある電池は使用しないでください。

⚠ 警告

- 通信機能が搭載されている器種におきましては、心臓ペースメーカ（およびICD）の動作に影響を及ぼす場合があります。
  心臓ペースメーカ（およびICD）を装着されている方は、補聴器を埋め込み部分から少なくとも15cm以上離してご使用ください。

⚠ 注意

- 指向性マイクロホンが作動している場合は、主に背後から来る音を抑えます。そのため、装用者の背後に近づく車の音や背後で鳴るクラクション（警告音）が聞こえにくいことがあります。
- 無線通信機能が作動している場合は、強力な電波（電磁波）を発する機器に近づかないようにしてください。（ヴィータス+のみ）
- 補聴器を使用しない場合は電池を取り出してください。そして湿気を取り除くために電池ホルダーを開けたままの状態で乾燥ケースの中に保管してください。
- ご使用になるまでは電池のシールをはがさないでください。ご使用の際にシールをはがし、30秒ほど待ってからご使用ください。

- 使用済みの電池は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 不要になった補聴器は、各自治体指定の方法により処分をしてください。
- 汗、湿気、皮脂、耳あか、整髪料などが補聴器内部に入ると故障する恐れがありますので、ご使用後はお手入れを行ってください。
- 補聴器を使用する前、あるいは使用中に次の症状がある場合には、使用を中止して耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。
  - 耳漏が生じたとき。
  - 耳の治療が必要になったとき。
  - 耳の聞こえが急に悪くなったと思えるとき。
  - 耳の皮膚が赤くなったり、かゆみ、湿疹が生じたとき。
  - 使用すると頭痛や疲れが生じるとき。
  - 補聴器の外観、音質、音量等に異常を感じたとき。
  - めまいが生じたとき。
  - 部品が耳中に残留したとき。

（フィッティングを行う専門家の方へ）

- 132dB SPLを超える音圧レベルは、残存聴力を害する恐れがあるのでご注意ください。
- 安全規格に適合していない機器に補聴器を接続してフィッティングを行わないでください。

ご使用になる前に

- 補聴器は聞こえを元に戻すものではなく、聴力を補う機器です。
- 使い始めは音量を小さめにして、慣れてきたら徐々に音量を調節してお使いください。
- 補聴器はお客様専用に調整されていますので、他の人に貸したり、他の人の補聴器を装用しないでください。正しく調整されていない補聴器は効果がないばかりか、場合によっては耳を傷めたりする恐れがあります。
- 耳を治療中の方、治療をしたことがある方は主治医にご相談ください。
- 聴力の変化に伴い、補聴器の再調整が必要になる場合がございます。耳鼻咽喉科専門医にて聴力測定を年に一度はお受けになることをお勧めします。

もくじ

はじめに 2
安全上のご注意（必ずお守りください） 3
ご使用にあたって 4
ご使用になる前に 7
本書の器種名の表記について 9
各部の名称 11
電池の交換方法 14
補聴器の使い方 16
ボリュームコントロールについて（BTE-P／BTE-UPタイプ） 23
プログラムスイッチについて 24
便利なプログラムについて 27
防塵・防水性能に関する情報と注意 30
ご使用後のお手入れ方法 32
耳せんの交換 33
補聴器の保管 36
初めてお使いになる方に 37
故障かと思われたときは 38
仕様・性能 39
アフターサービス 62
シンボルマークの説明 63
保証について 65
Service Policy and Warranty 66
クイックガイド 69

本書の器種名の表記について

フォナック ヴィータス+／ヴィータスは、グレード、タイプ、電池サイズやパワーの組み合わせで合計9の器種が存在します。
器種名の見方については下記をご参照ください。

グレード	タイプ	電池サイズ／パワー
フォナック ヴィータス+	RIC	-312T M
フォナック ヴィータス+	RIC	-312T P
フォナック ヴィータス+	RIC	-312T UP
フォナック ヴィータス+	BTE	-micro
フォナック ヴィータス+	BTE	-P
フォナック ヴィータス+	BTE	-UP
フォナック ヴィータス	BTE	-micro
フォナック ヴィータス	BTE	-P
フォナック ヴィータス	BTE	-UP

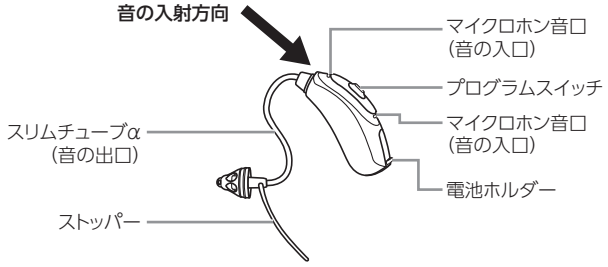
本文中では、器種名を一部省略する場合があります。該当器種の見方は次の表をご参照ください。

文中の表記（例）	該当器種
「ヴィータス+タイプ」	フォナック ヴィータス+ RIC-312T M フォナック ヴィータス+ RIC-312T P フォナック ヴィータス+ RIC-312T UP フォナック ヴィータス+ BTE-micro フォナック ヴィータス+ BTE-P フォナック ヴィータス+ BTE-UP
「BTE-Pタイプ」	フォナック ヴィータス+ BTE-P フォナック ヴィータス BTE-P

各部の名称

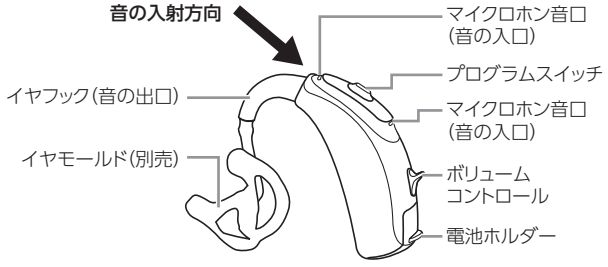
■ フォナック ヴィータス+ BTE-micro／ヴィータス BTE-micro

電池サイズ：PR41（312）



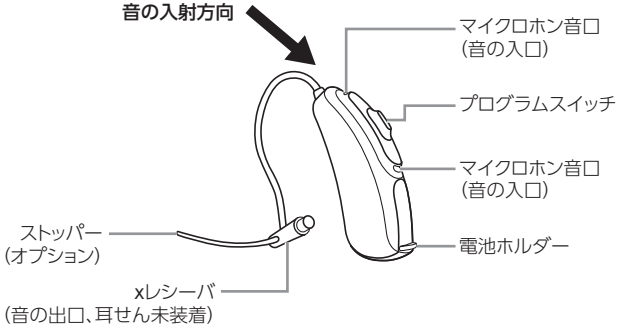
■ フォナック ヴィータス+ BTE-P／ヴィータス BTE-P フォナック ヴィータス+ BTE-UP／ヴィータス BTE-UP

電池サイズ
BTE-Pタイプ：PR48（13）
BTE-UPタイプ：PR44（675）



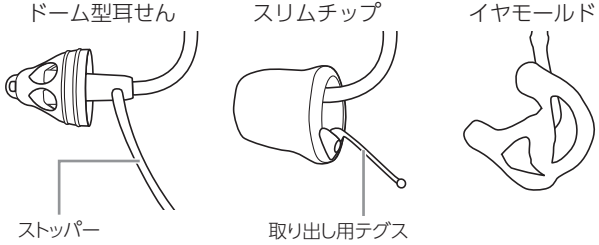
■ フォナック ヴィータス+ RIC-312T

電池サイズ：PR41（312）

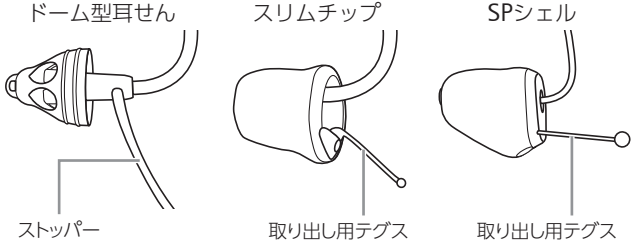


■ 耳せん

ヴィータス+ BTE／ヴィータス BTE：

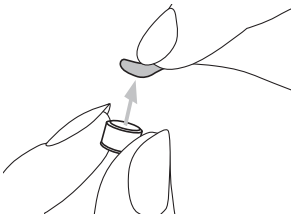


ヴィータス+ RIC：

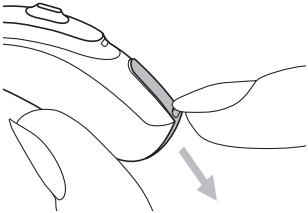


電池の交換方法

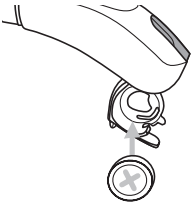
❶ 新しい電池の保護シールをはがします。シールが貼ってある側が（+）面です。



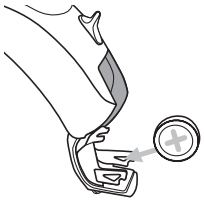
❷ 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出します。



❸ 新しい電池を電池ホルダーに入れます。電池の（+）面と電池ホルダーの＋マークが同じ方向になるようにあわせます。

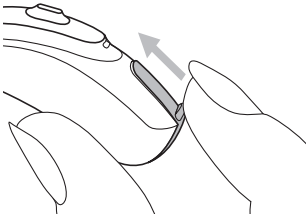


RIC-312T／BTE-microタイプ



BTE-P／BTE-UPタイプ

4 カチッと閉まるまで、電池ホルダーをゆっくり押します。



⚠ 注意

- 電池ホルダーは丁寧に扱い、無理な力を加えないでください。
- 電池は本体側ではなく電池ホルダーに入れてください。電池を本体側に入れてから電池ホルダーを閉じようとすると、電池ホルダーが破損する恐れがあります。

MEMO

- 電池ホルダーがうまく閉まらない場合には、電池が正しく収納されているか確認してください。電池の（+）面と（−）面が逆向きに収納されている場合、きちんと閉まりません。
- 補聴器を使用しないときは、電池ホルダーを開けたまま保管してください。
- 電池がなくなりかけると、電池寿命お知らせ音（ピー、ピー）が鳴りますので、電池を新しいものに交換してください。
  （電池が使用できなくなる約30分前に鳴りますが、補聴器の使用状態によって異なります。）

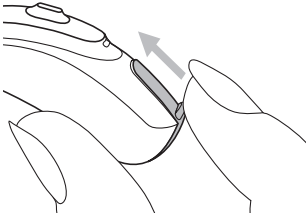
補聴器の使い方

電源の入れ方／切り方

電池ホルダーは電源の入／切機能を兼ねています。

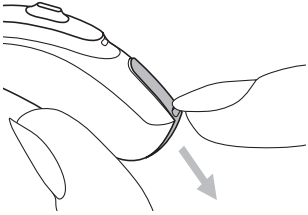
❶ 電源を入れる：

電池ホルダーを閉めます。



❷ 電源を切る：

電池ホルダーを開けます。



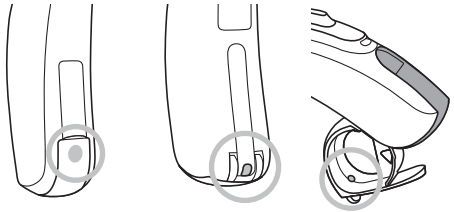
MEMO

- 電源を入れると、補聴器にあらかじめ設定された音量とプログラムが起動します。
- 電源を入れてから数秒後に音が出ます。スタートアップの遅延が設定されている場合は、さらに約6秒または12秒遅れて音が出ます。

補聴器の付け方／外し方

■ 装用の前に

補聴器には左耳用・右耳用がありますので左右をご確認ください。



左耳用：青色
右耳用：赤色

BTE-micro
タイプ

BTE-P／
BTE-UPタイプ

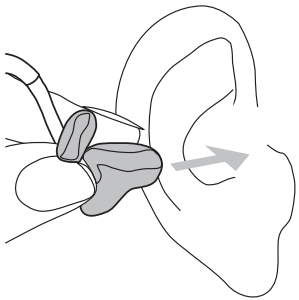
RIC-312T
タイプ

■ 補聴器の付け方

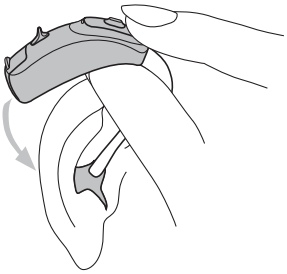
イヤモールドの場合：

❶ 図のようにイヤモールドを持ち、耳の穴にゆっくり入れます。

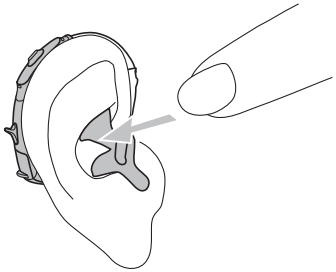
耳介部分を軽く後ろに引っぱりながら入れると、入れやすくなります。



❷ マイクロホンが耳の上部にくるように、補聴器本体を耳介の後ろにかけます。

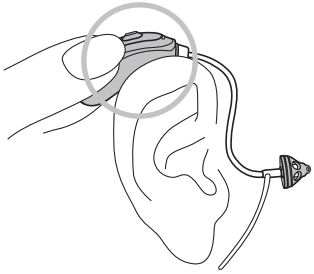


❸ イヤモールドの上部を耳穴の上部にゆっくり入れます。

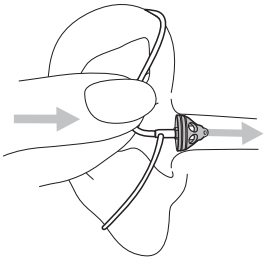


耳せん／スリムチップ／SPシェルの場合：

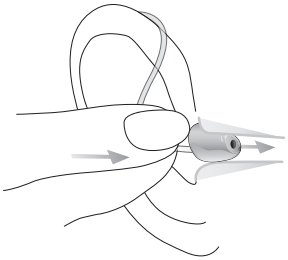
❶ マイクロホンが耳の上部にくるように、補聴器本体を耳介の後ろにかけます。



❷ 耳せんが付いているチューブを図のように持ち、外耳道に耳せんをゆっくり押し込みます。



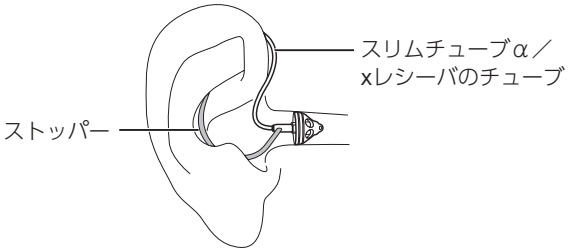
オープン型耳せん／
クローズ型耳せん／
パワー型耳せん／耳せん
(ジョイントチューブ用)



スリムチップ／SPシェル

❸ オープン型耳せん、クローズ型耳せん、パワー型耳せんの場合、チューブのストッパーを図のように耳のくぼみに沿うようにはめます。

ストッパーが必要でない場合、取り外すことも可能です。お買い求めの販売店にお尋ねください。



⚠ 注意

- ストッパーが長い場合は、少し切り取ることも可能です。その際、固定できないほど短くしないように十分気をつけてください。
- 耳せんは、スリムチューブαもしくはxレシーバから外れないように作られていますが、万が一外れた耳せんが耳の中に入ってしまった場合には、すみやかに医療機関にご相談ください。

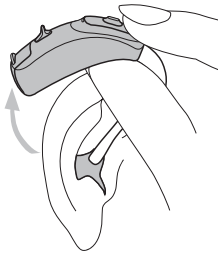
MEMO

- ストッパーが不要であれば、取り外すことも可能です。お買い求めの販売店にお尋ねください。

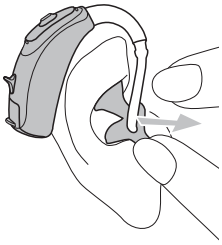
■ 補聴器の外し方

イヤモールドの場合：

❶ 補聴器本体を耳介から外します。



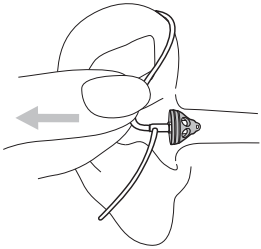
❷ チューブではなくイヤモールドをつかみ、ゆっくり耳から取り出します。



耳せん／スリムチップ／SPシェルの場合：

図のようにスリムチューブαもしくはxレシーバのチューブ部分をつかみゆっくり耳から取り出します。

スリムチップの場合は取り出し用テグスを使って取り出します。



ボリュームコントロールについて(BTE-P／BTE-UPタイプ)

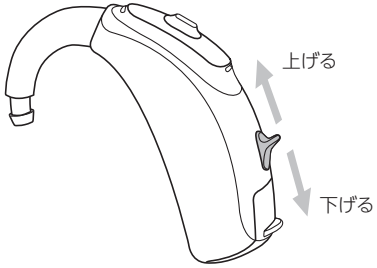
BTE-P／BTE-UPタイプには、ボリュームコントロールが搭載されています。

音量を上げるには：

ボリュームコントロールを上に押します。

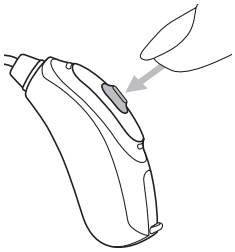
音量を下げるには：

ボリュームコントロールを下に押します。



プログラムスイッチについて

あらかじめ設定しておくことにより、プログラムスイッチの押し方の違いで2通りの機能を使い分けることができます。
また、プログラムスイッチを無効にする（触れても作用しない）ことも可能です。



MEMO

- これらの設定内容については、お求めの販売店にご確認ください。

プログラムスイッチを短く押す

（以下のいずれかの設定でご使用いただけます）

■ 片耳装用の場合

①	プログラム切り替え
②	音量調節（上げる） 上限に達したあとは元の音量に戻ります。
③	音量調節（下げる） 下限に達したあとは元の音量に戻ります。

※ 図の横軸はステップ、縦軸は音量を表しています。

※ BTE-P／BTE-UPタイプはボリュームコントロールを搭載しているため、①の設定のみが可能です。

■ 両耳装用の場合

	右側の補聴器	左側の補聴器
①	プログラム切り替え	
②	音量調節（両耳上げる） 	音量調節（両耳下げる）
③	音量調節（両耳上げる） 上限に達したあとは元の音量に戻ります。	両耳プログラム切り替え
④	両耳プログラム切り替え	音量調節（下げる） 下限に達したあとは元の音量に戻ります。

※ 図の横軸はステップ、縦軸は音量を表しています。

※ BTE-P／BTE-UPタイプはボリュームコントロールを搭載しているため、①の設定のみが可能です。

プログラムスイッチを長押しする

(以下のいずれかの設定でご使用いただけます)

①	スタートアッププログラムに戻る
②	マイクロホンの感度を下げる
③	選択したプログラムにジャンプする

※ 設定内容については、お求めの販売店にご確認ください。

便利なプログラムについて

フォナック ヴィータス+／ヴィータスには聞こえの困難な状況に役立つ様々な機能がございます。
これらの機能の使用方法や、使用可能かどうかについては、販売店にご確認ください。

電話用プログラム

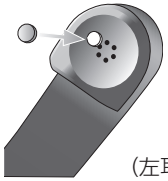
電話の受話器の音を聞きやすくするプログラムです。
マイクロホン、またはTコイルを利用できます。

イージーフォン

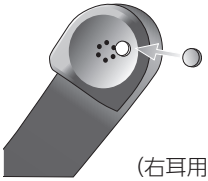
イージーフォンは、付属の磁石を取り付けた受話器を耳にあてると、自動的に電話用プログラムに切り替わる機能です。
切り替わるとき、お知らせ音（ピポ）が鳴ります。
受話器を耳から離すと、数秒後に元のプログラムに自動的に戻ります。

■ イージーフォン用の磁石を取り付ける方法

受話器をきれいにし、図のような位置に専用の磁石を付属の両面テープで貼ります。



（左耳用）



（右耳用）

⚠ 注意

- 磁石は子どもの手の届かないところに保管してください。もし誤って飲み込んだ場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

MEMO

- 磁石で受話器の音が出る部分を覆わないようにしてください。受話器を近づけても切り替わらない場合は、磁石の位置を変更してください。
- 磁石は、クレジットカードなどの磁気のあるものに影響しますので30cm以上離してください。

ロジャー/DAI（外部入力）プログラム

補聴器に、ロジャー（デジタルワイヤレス補聴援助システム）を接続する場合に使用します。
外部入力のみ、または外部入力と補聴器のマイクロホンのミキシングが可能です。

■ プログラムスイッチで切り替える方法

あらかじめ補聴器にロジャー/DAIプログラムを設定し、必要に応じて切り替えます。

ロジャーについて

話し手と聞き手の距離が離れた広い場所や周囲の声が行き交う公共の場所など、補聴器を利用しても聞き取りが困難な環境があります。そんなときに役立つのがロジャーです。
遠くにいる話し手の声をキャッチし電波を用いて音声を送ることで、快適な聞き取りを実現します。

送信機：マイクロホンを話し手の口元やスピーカーの近くに設置、もしくは外部入力に音源を接続します。

受信機：一体型は補聴器に取り付けて使用します。オーディオシューを介して、ユニバーサルタイプの受信機も使用できます。Tコイル利用型はネックループを首からかけて使用します。

これらの機器を使用する際は補聴器の設定およびプログラム切り替え操作が必要な場合があります。
詳細についてはそれぞれのカタログ、または取扱説明書をご覧ください。

防塵・防水性能に関する情報と注意

フォナック ヴィータス+／ヴィータスには、下記の防塵・防水性能が備わっています。この性能を維持するため、以下の注意点をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

IP等級	対象製品
IP68	フォナック ヴィータス+ RIC-312T フォナック ヴィータス+ BTE-micro フォナック ヴィータス+ BTE-P フォナック ヴィータス+ BTE-UP フォナック ヴィータス BTE-micro フォナック ヴィータス BTE-P フォナック ヴィータス BTE-UP ロジャー受信機 ロジャー 18 ロジャー受信機 ロジャー 19

■ 一般的な注意点

ヘアスプレーやその他の化粧品を使用する場合、補聴器の聞き取りに影響が発生する可能性がありますので、耳から取り外したあとにヘアスプレー等をご使用ください。

■ 使用上における注意

- 補聴器は電池ホルダーが完全に閉じた状態でのみ防塵・防水性能を担保します。髪の毛等が挟まれないように電池ホルダーを完全に閉じてご使用ください。
- 汗やほこりが多く付いてしまった場合、乾いた布等できれいに拭き取り乾燥ケースに入れて乾燥させてください。（このときドライヤーは使用しないでください）

- 日ごろのケアや定期的な点検に関しては、以下をご参照ください。
  - スキューバダイビング、潜水、水上スキーやその他の水上でのアクティビティをされる前には補聴器を取り外してください。
  - 補聴器に水が付着することで電池への空気供給が制限されて一時的に補聴器の動作が止まることがあります。その場合は、柔らかい布もしくはティッシュで水分を拭き取り、濡れていないことを確認してから、電池ホルダーを開けて空気を供給してください。
  - ロジャー受信機 ロジャー 18、ロジャー 19は、この補聴器に接続した状態でのみ防塵・防水性能を担保します。受信機単体では、防塵・防水性能が保持されませんのでご注意ください。
  - オーディオシュー AS 18、AS 19を使用したときは、防塵・防水性能は保持されませんのでご注意ください。
- 防塵・防水性能を維持するために、異常の有無にかかわらず1年に一度のメーカーによるメンテナンスをお勧めします。

ご使用後のお手入れ方法

補聴器を長くお使いいただくために、日ごろからのお手入れをお勧めします。

1. 補聴器本体から電池を取り出します。
2. ティッシュペーパーや柔らかい布で、補聴器本体と電池に付いた汗や汚れを拭き取ります。
3. 電池ホルダーの中も湿気があるとさびやすいため、綿棒などで水分を取ってください。
4. 耳あかが音口部にたまると故障の原因となることがあります。付属のブラシで音口部を下に向けて掃除してください。

⚠ 注意

- 補聴器をお手入れする際に、家庭用洗剤（石鹸、洗剤粉など）は絶対にご使用にならないでください。
- 水滴が残る危険があるため、チューブや耳せんを水で洗ったり、水中に入れたりしないようにしてください。
- 水滴がチューブや耳せんに残っていると、音が出ない、または補聴器の電気部分が壊れる恐れがあります。
- チューブと耳せんは3か月に1回のペースで交換してください。また、チューブが硬くなったり、もろくなってきた場合はすぐに交換してください。
- チューブから耳せんを外して耳に装用しないでください。耳を傷つける恐れがあります。

耳せんの交換

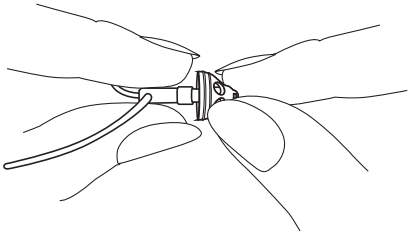
スリムチューブαもしくはxレシーバをご使用の場合は、耳せんを交換および清掃する必要があります。
定期的に耳せんをチェックし、汚れていたり音質が低下している場合は交換してください。
交換する目安は4〜8週ごとです。

⚠ 注意

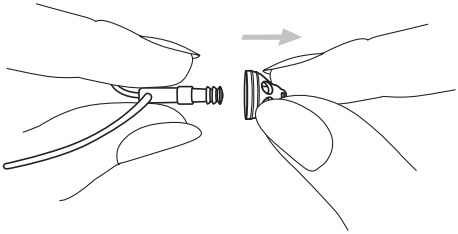
- 耳せんの取り外し／取り付けを行うときは、無理な力を加えないようにしてください。

耳せんを取り外す

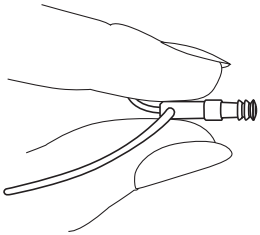
❶ 片方の手でスリムチューブαもしくはxレシーバをつまみ、もう一方の手で耳せんをつまみます。



❷ ゆっくりと耳せんを引き抜きます。

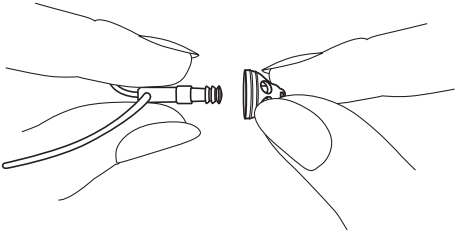


❸ 柔らかい布を使ってスリムチューブαもしくはxレシーバをきれいに拭き取ります。



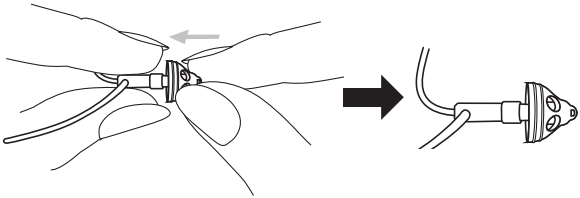
耳せんを取り付ける

❶ 片方の手でスリムチューブαもしくはxレシーバをつまみ、もう一方の手で耳せんをつまみます。



❷ ゆっくりと耳せんを差し込みます。

スリムチューブαもしくはxレシーバと耳せんが隙間なくしっかり固定されていることを確認してください。



補聴器の保管

通常の保管方法：
(乾燥ケースを使用される場合)
電池ホルダーを開けたまま補聴器を乾燥ケースに入れてください。

携帯する場合：
電池ホルダーを開けたまま補聴器を専用ケースに入れてください。
長期間補聴器をご使用にならない場合は電池を取り外しておいてください。

> ⚠ **注意**
>
> - 補聴器から必ず電池を取り出してください。
> 補聴器から取り出した電池は電池寿命が短くなりますので乾燥ケースに入れないようにしてください。

■ 輸送／保管時の環境条件

	輸送条件	保管条件
温度（℃）	-20～60	
湿度（%）	0～90	0～70
気圧（hPa）	200～1500	

初めてお使いになる方に

■ 第一段階

はじめは静かな家の中などで使用し、補聴器を付けることに慣れてください。最初は自分の声に違和感がありますが、本などを声に出して読んだりして違和感がなくなるまで練習します。練習は10分ほどから始めて徐々に長くしますが、疲れたらすぐ休んでください。

■ 第二段階

静かな部屋で、身近な人と一対一で話す練習をしましょう。

■ 第三段階

複数の身近な人と話をする練習をします。どの人が話をしているか聞き分けてみましょう。

■ 第四段階

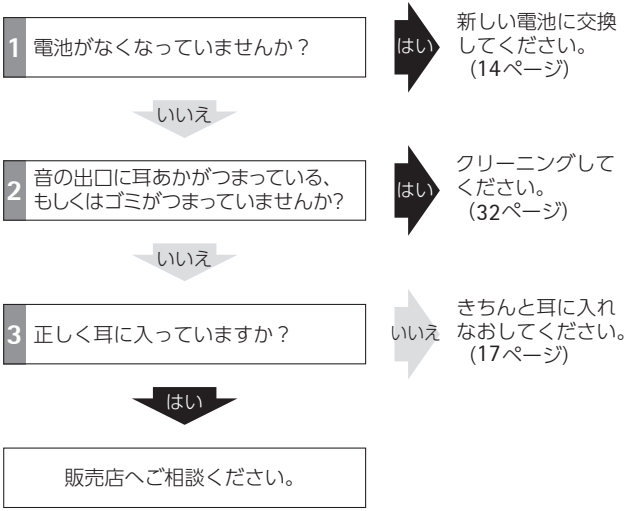
慣れてきたら、外で聞く練習をします。

MEMO

- 補聴器の音が小さかったり、周囲の音が大きく感じたら販売店にご相談ください。補聴器の再調整が必要となります。

故障かと思われたときは

補聴器が聞こえづらくなったときは、まず下記のようにお調べください。



仕様・性能

■ 補聴器の電波情報

アンテナタイプ	フェライトコイルアンテナ（誘導式）
周波数	10.6 MHz
占有周波数帯幅	約500 kHz
変調方式	DQPSK
チャンネル	1チャンネル
通信可能範囲	18 cm
用途	両側の補聴器間でデータ信号を送受信する
磁界強度※	-25 dBμA/m

※ 磁界強度の測定距離は10mです。

フォナック ヴィータス+ BTE-micro
フォナック ヴィータス BTE-micro

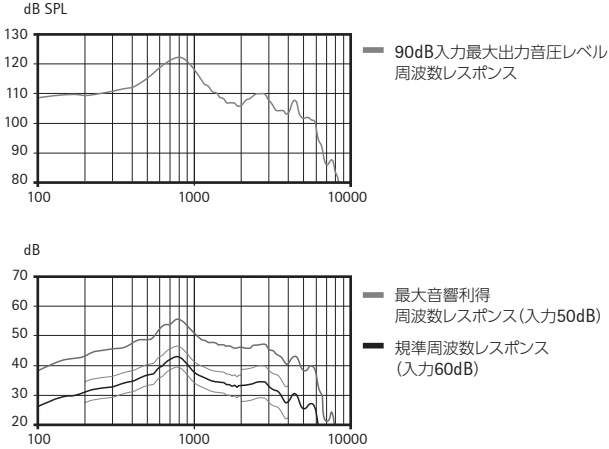
補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中
最大音響利得（50dB入力）	56 +3 dB 以下（ピーク値） 48 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	122 +3 dB 以下（最大OSPL90） 112 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 4.5% 以下 800 Hz 4.5% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	75 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	90～130時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりスリムチューブαを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ BTE-micro
フォナック ヴィータス BTE-micro

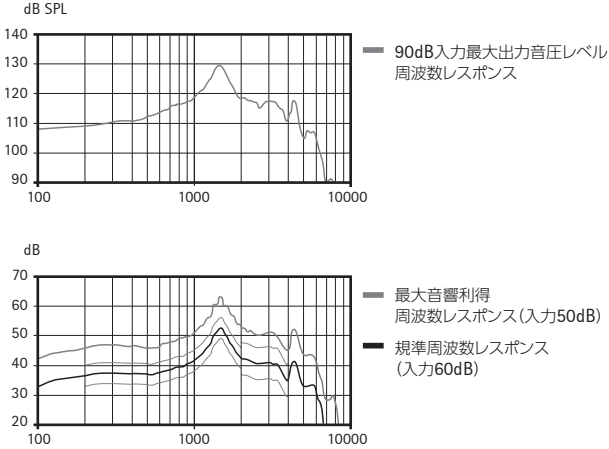
補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中
最大音響利得（50dB入力）	63 ＋3 dB 以下（ピーク値） 54 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	129 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 121 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　8.0% 以下 800 Hz　6.0% 以下 1600 Hz　5.0% 以下
誘導コイル感度	82 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.68 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	80～110時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパー入りフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ BTE-micro
フォナック ヴィータス BTE-micro

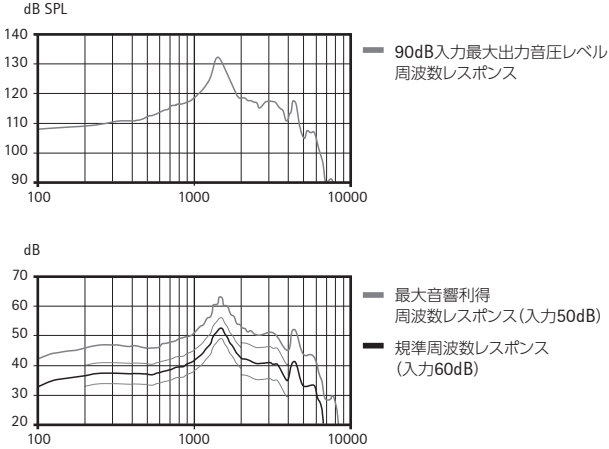
補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中
最大音響利得（50dB入力）	63 ＋3 dB 以下（ピーク値） 54 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	132 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 121 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　8.0% 以下 800 Hz　6.0% 以下 1600 Hz　5.0% 以下
誘導コイル感度	82 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.68 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	80～110時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパーなしフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ BTE-P
フォナック ヴィータス BTE-P

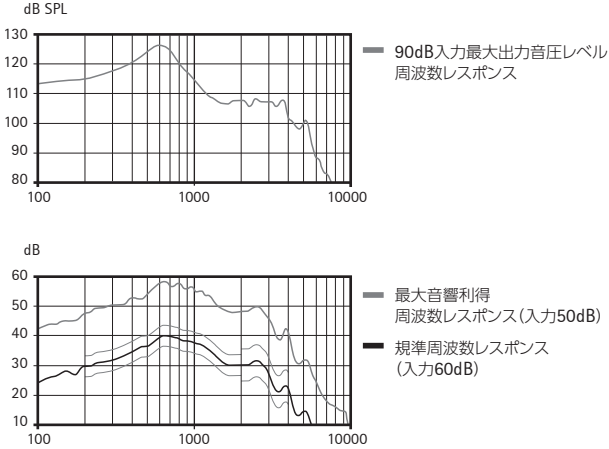
補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	58 ＋3 dB 以下（ピーク値） 51 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	126 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 110 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　4.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.5% 以下
誘導コイル感度	75 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	140～220時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりスリムチューブαを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ BTE-P
フォナック ヴィータス BTE-P

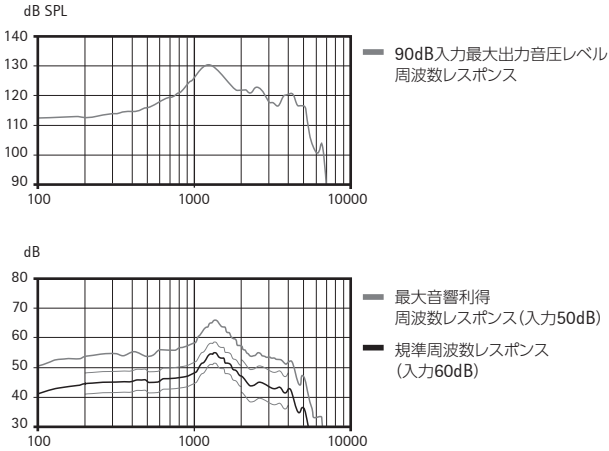
補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	66 ＋3 dB 以下（ピーク値） 58 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	131 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 125 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　8.0% 以下 800 Hz　7.0% 以下 1600 Hz　5.0% 以下
誘導コイル感度	87 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	140～220時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパー入りフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ BTE-P
フォナック ヴィータス BTE-P

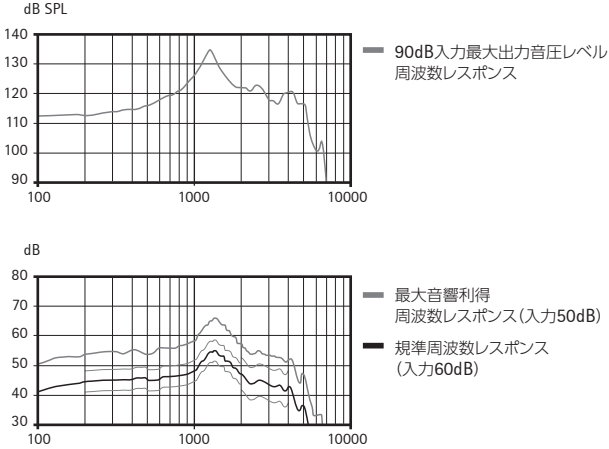
補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	66 +3 dB 以下（ピーク値） 58 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	135 +3 dB 以下（最大OSPL90） 125 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 +3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz 8.0% 以下 800 Hz 7.0% 以下 1600 Hz 5.0% 以下
誘導コイル感度	87 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR48（13）
電池寿命	140～220時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパーなしフックを使用して測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ BTE-UP
フォナック ヴィータス BTE-UP

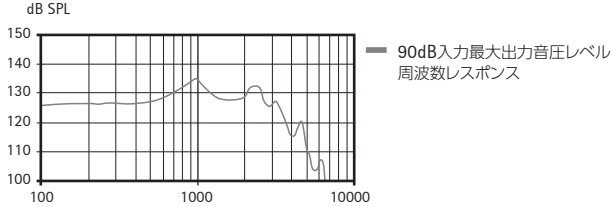
補聴器機能使用時

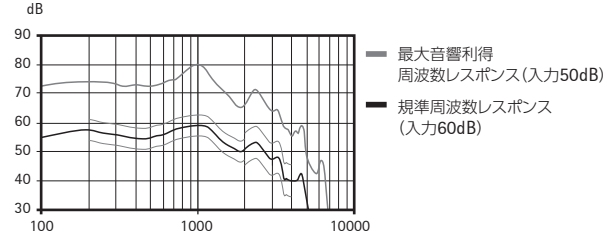
適応聴力範囲	高重
最大音響利得（50dB入力）	80 ＋3 dB 以下（ピーク値） 67 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	135 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 130 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　8.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
誘導コイル感度	101 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	2.40 mA 以下
使用電池	PR44（675）
電池寿命	190～320時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパー入りフックを使用して測定・表示してあります。





※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ BTE-UP
フォナック ヴィータス BTE-UP

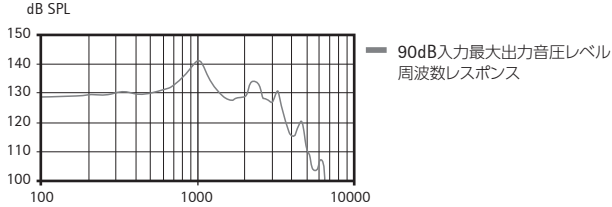
補聴器機能使用時

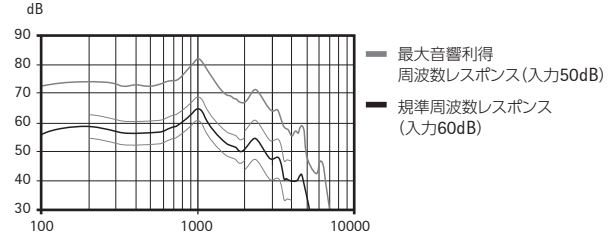
適応聴力範囲	高重
最大音響利得（50dB入力）	82 ＋3 dB 以下（ピーク値） 74 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	141 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 134 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　8.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
誘導コイル感度	103 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	2.40 mA 以下
使用電池	PR44（675）
電池寿命	190～320時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラによりダンパーなしフックを使用して測定・表示してあります。





※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ RIC-312T M

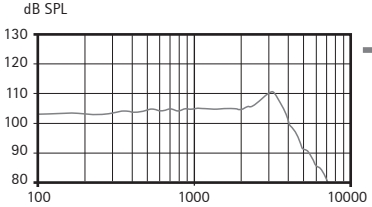
補聴器機能使用時

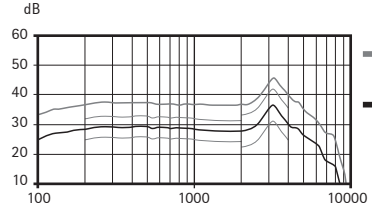
適応聴力範囲	軽中
最大音響利得（50dB入力）	46 ＋3 dB 以下（ピーク値） 37 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	111 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 106 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　4.5% 以下 800 Hz　5.0% 以下 1600 Hz　5.0% 以下
誘導コイル感度	65 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	90～130時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラにより測定・表示してあります。





※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ RIC-312T P

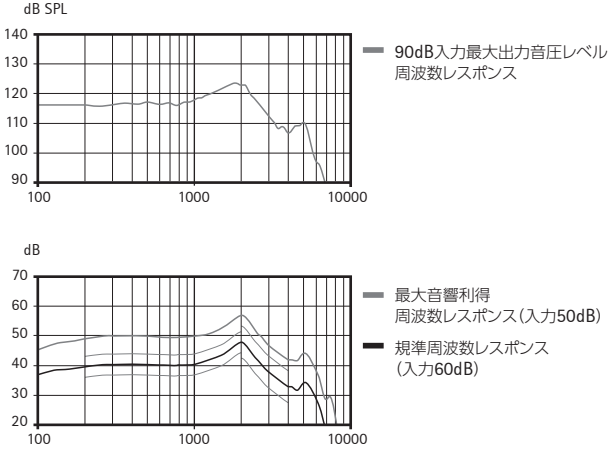
補聴器機能使用時

適応聴力範囲	軽中高
最大音響利得（50dB入力）	57 ＋3 dB 以下（ピーク値） 52 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	124 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 120 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　4.0% 以下 800 Hz　4.0% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
誘導コイル感度	80 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.44 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	90～130時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラにより測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

フォナック ヴィータス+ RIC-312T UP

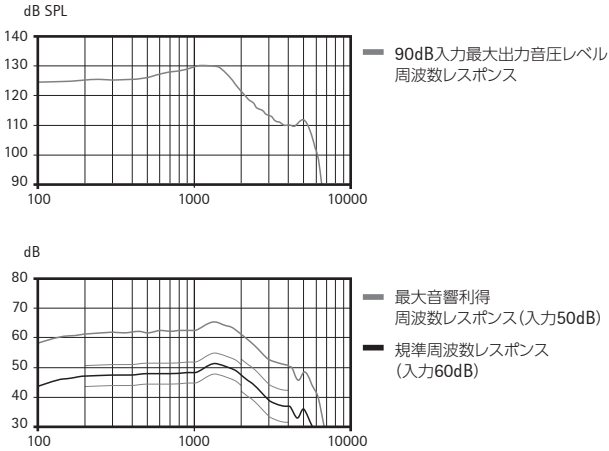
補聴器機能使用時

適応聴力範囲	高重
最大音響利得（50dB入力）	66 ＋3 dB 以下（ピーク値） 61 ±5 dB（HFA-FOG）
90dB入力 最大出力音圧レベル	130 ＋3 dB 以下（最大OSPL90） 124 ±4 dB（HFA-OSPL90）
等価入力雑音レベル	19 ＋3 dB 以下
全高調波ひずみ （最大許容値）	500 Hz　4.5% 以下 800 Hz　4.5% 以下 1600 Hz　4.0% 以下
誘導コイル感度	90 ±6 dB（HFA MASL）

その他

電池の電流	1.56 mA 以下
使用電池	PR41（312）
電池寿命	80～120時間
利得調整器	可変幅 ±6 dB の場合約 2.0 dB ずつ 3 段階 可変幅 ±10 dB の場合約 2.0 dB ずつ 5 段階 可変幅 −20 dB の場合約 2.0 dB ずつ 10 段階

※ 記載したデータは JIS C 5512：2015 の2cm^{3}カプラにより測定・表示してあります。



※ 本書に掲載された電池寿命：JIS規格に基づいて測定した電流値から換算した参考値です。
フォナック純正電池を使用したときの目安です。ご使用の状況・気温・温度などの環境の影響によって電池寿命は大幅に変わります。

アフターサービス

■ 保証書（別途添付）

必ず「販売店名」、「お買い上げ日」などの記載をお確かめになり、大切に保管してください。

■ 修理について

保証書を一緒に販売店へお持ちください。保証書に記載された内容に応じて修理いたします。

■ その他

アフターサービスなどについてのご不明な点は、お求めの販売店までお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2018年12月現在のものです。各製品の仕様は予告なく変更される場合がございます。

※ この補聴器は耳を保護する目的で出力120dB SPL以下、利得25dB以下に設定し出荷いたしております。

シンボルマークの説明

CE
0459

CE 記号は、アクセサリー類を含む製品が医療機器指示文93/42/EEC とR&TTE 指示文1999/5/EC のラジオと通信機器・送信機の基準を満たしていることを示しています。CE 記号に続く番号は、Sonova AGに対し指導した公認機関コードを表します。

この記号は、取扱説明書に載っている製品説明がEN60601-1のタイプB に則っていることを表します。

この記号は、補聴器を使われる人が取扱説明書に書いてある内容を読み理解してもらうことが大事であることを示しています。

ゴミ箱に×印の記号は、通常と異なるごみ処理が要求される可能性があることを意味します。処分される際はお住まいの自治体が定める方法に従ってください。

この記号は、製造工場が医療機器指示93/42/EECの基準を満たしていることを示しています。

この記号は、製品の輸送、保管時に水濡れ厳禁であることを示しています。

この記号は、製品の輸送、保管時の周囲温度が-20℃から60℃の間でなければならないことを示しています。

この記号は、製品の輸送時の環境が湿度90%以下でなければならないことを示しています。

Bluetooth®およびそのロゴはBluetooth SIG, Inc.が所有し、Sonova AGはライセンスに基づいてこれらの商標を使用しています。

その他の商標および商標名は、各所有者に帰属します。

保証について

■ 日本国内における保証期間

日本国内における本製品の無償保証期間は2年間です。
無償修理の際、保証書が必要になりますが、製品に同梱されている保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。

■ 日本国外における保証期間（国際保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、シェル、アクセサリーパーツ、電池、耳せん、外部レシーバを除く補聴器本体となります。保証書に「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。
当規定は上記の修理保証規定により交換・修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

■ 保証適用除外

お客様または第三者の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理に関しては、保証期間内であっても保証適用外となります。修理は、ソノヴァ・ジャパンが指定するサービスセンターでのみ行ってください。
また、補聴器の専門家による補聴器の調整やアフターケア等のサービスに対しても、保証対象ではありません。

Service Policy and Warranty

■ Local Warranty

Please ask the hearing care professional, where you purchased your hearing aid, about the terms of the local warranty.

■ International Warranty

Phonak offers you a one year limited international warranty valid starting from the date of purchase. This limited warranty covers manufacturing and material defects in the hearing aid itself, but not accessories such as batteries, tubes, ear modules, external receivers. The warranty only comes into force if a proof of purchase is shown. The international warranty does not affect any legal rights that you might have under applicable national and legislation governing sale of consumer goods.

■ Warranty Limitation

This warranty does not cover damage from improper handling or care, exposure to chemicals or undue stress.
Damage caused by third parties or non-authorized service centers renders the warranty null and void. This warranty does not include any services performed by a hearing care professional in their office.

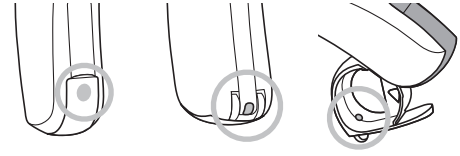
Memo

Memo

クイックガイド

(いつでも見られるよう、切り取って携帯していただくと便利です)

■ 識別マーカー



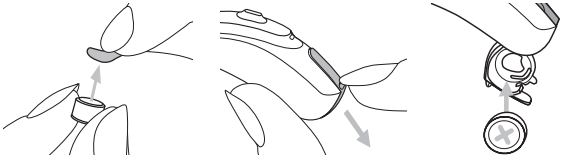
左耳用：青色
右耳用：赤色

BTE-micro
タイプ

BTE-P／BTE-UP
タイプ

RIC-312T
タイプ

■ 電池交換

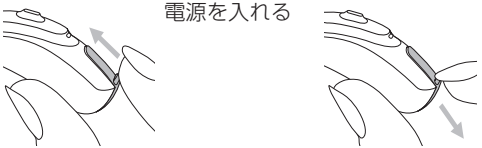


❶ 新しい電池のシールをはがす。

❷ 電池ホルダーを開け、使用済みの電池を取り出す。

❸ 新しい電池の（+）面を手前にして電池ホルダーにセットする。

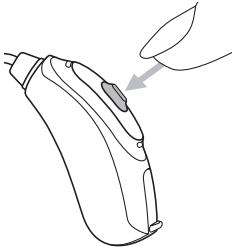
■ 電源の入/切



電源を入れる

電源を切る

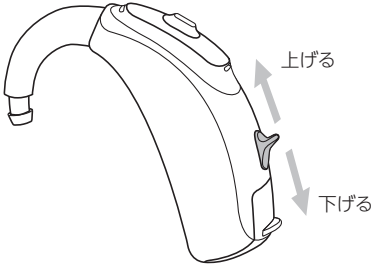
■ プログラムスイッチ



短く押す：
- □プログラム切り替え
  1. _____
  2. _____
  3. _____
  4. _____
  5. _____
  6. _____
- □音量調節（右大きく：左小さく）
- □右：音量↑/左：プログラム切り替え
- □右：プログラム切り替え/左：音量↓
- □音量調節（大きく）
- □音量調節（小さく）

長押し：
- □スタートアッププログラム
- □マイクロホン減衰
- □プログラムジャンプ

■ 音量調節（BTE-P／BTE-UPタイプ）



7 613389 087987

029-0562-17/201812/V1.1 Printed in Japan ©Sonova AG All rights reserved

製造販売業

ソノヴァ・ジャパン株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川2-5-8

天王洲パークサイドビル

TEL 0120-06-4079（お客様相談窓口）

FAX 0120-23-4080

www.phonak.com/jp/ja

許可番号 13B2X10021　認証番号 230ABBZX00026000

販売店名

sonova
HEAR THE WORLD